

巻 頭 言

防災ウォッチ

本誌「ヒューマンサイエンス」は、神戸女学院大学大学院人間科学研究科の教員、大学院生などの研究を発表する場として、意欲的な論文、研究ノートなどが掲載され、読みごたえのあるものになっている。人間科学研究科には人間科学専攻という1専攻のもとに臨床心理学分野、人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野の4分野があり、文系、理系を超えて、互いの研究を発表しあい、議論する「人間科学合同演習」という必修授業がある。違う分野の人にもわかるように発表することで、多様な視点を持ち試行錯誤しながら考える習慣をつけている。そのために、本誌の中にも、文系理系にまたがる様々な論文が掲載されているのである。

本学の人間科学部が主管し全学の学生が受講できる「地域創りリーダー養成プログラム」という副専攻プログラムがあり、2年後期の講義科目から、3年には総合実習として1年間かけて各グループで、行政、NPO、地域の人たち等と協力して、地域貢献できる企画などを考え実施する。4年にプレゼンテーションについて学び、その結果を公開するというものである。その総合実習の中で、昨年度の「防災班」が「妖怪ウォッチ」をもじった「防災ウォッチ」という、小学生や幼児を対象とした防災教育の企画を考案した。いろいろなキャラクターを考案しておりなかなか好評で、本年度西宮市の依頼で、5か所で「防災ウォッチ」を実施し、「ほうさい甲子園」で奨励賞(大学の部)を受賞するという荣誉にあずかった。その授賞式に私も参加したが、その授賞式に参加した他県の小学校から、「防災ウォッチ」を自分たちの学校でも実施したいという申し入れがあったので、大学の関係者に法律家も交えて、検討した。その議論の中で、「防災ウォッチ」自身が「妖怪ウォッチ」のキャラクターを明らかにまねたものがあり、それは削除するか変更したほうがいいのかとの弁護士の指摘を受けた。ただ、教育目的でのみの使用であり、収益目的ではないことは明確なので著作権者から訴えられることはないであろうとも言われたが、多くのキャラクターの中で模倣性の高い「ワレニャン」と「ナスパー」という二つのキャラクターは、結局、削除することになった。そして、使用依頼のあった学校や本学学生が実施する自治体とは合意書を取り交わすということになった。収益のことなど考えずに研究をしてきた私にとっては、なかなか新鮮な体験であった。

いずれにしても、我々の研究はオリジナルであるが、そのことだけが重要なのではなく、後の研究者に引用されるような質の高いオリジナリティを発揮したいものである。

小林 哲郎
(人間科学研究科長)